

平和、自由、人権 すべての生命を尊重する社会を

北海道から

憲法の理念を訴える

第56回護憲大会

「憲法理念の実現をめざす第56回護憲大会」が11月9日～11日、北海道函館市でひらかれ、全国から約2千人が訪れ、県連から松井辰也・書記次長と事務局が参加した。北海道での開催は1996年の札幌開催依頼23年ぶり。

北海道平和運動フォーラムなどをつくる実行委員会の主催者を代表し、藤本泰成・実行委員会委員長は「9月に第4次安倍再改造内閣が発足し、自民党は憲法改正にむけた議論がすすめられている。函館から憲法の理念を訴えよう」とあいさつをした。

基調提案では「1946年11月3日、日本国憲法が公布され、政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることのないよう決意し、武力の不保持と戦争放棄を誓うとともに、主権が国民にあることを宣言し、侵すことのできない永久の



開会行事のようす



日本初の女子修道院



メディアでよく使われる八幡坂

最後に、私たちは核も戦争もない平和な、そ

して人権が尊重される社会の実現にむけ、国内はもとより世界のあらゆる人びとと連帯し活

動することを誓い、第56回護憲大会が終了した。今回は滋賀県大津市でひ

言葉をかけられて「水俣病は、うつる病気ではないと勉強しなかったの？」と言いつつ、病気がうつるのではないかと、あまりかわらうとはしなかった。しかし、小学校の教員となつて、子どもとかがかわるなかで、自分自身が変わり「水俣」ともう一度向き合えるようになってきた。とくに、子どもの「キツイことをかかすのではなく、キツイことを話せるようになりたい」という言葉に「ガンときた」ときから代わってきたらしい。中学校の社会科の教師をしてきたとき、「水俣病」は、日本の四大公害病のひとつとして教えていた。もちろんチツソという会社の有機水銀の垂れ流しが原因であることも教えてきたが、それが差別の対象となることには触れなかった。水俣病が社会の関心を集めたのは、1970年代から90年代頃までである。しかし、2004年水俣病をめぐるいくつかの訴訟のうち最後の判決（最高裁判所が国と熊本県の責任を認めた）が出されると「水俣病」への関心が急速に後退する。水俣病は終わった問題、過去の問題とされていく。そんな社会のなかで「水俣病」の正しい知識が若い人には与えられず、昔の間違ったマイナスイメージだけが受け継がれる。今の部落差別と同じような構造があると気づかされた。

伊予市立港南中学校の湯浅理恵子先生の「本気で学ぶなら、応援したい」である。生徒に水平社宣言を学習したあと、自分自身の人間宣言をつくらせ、家族にその内容を伝え保護者が否定的な態度であれば、どのように理解してもらうかを考え、最後に地域の歴史（水平社の立ち上げ）で当時の人たちの苦しみなどを理解させるというものであった。このとき、一人の部落出身の子どものかわり、その親子の思いを知ることによって部落差別を知っていたという内容の報告であった。その母親がその子に部落問題学習をしても差別はなくならないといわれたということから、報告者は母親ともつながりをもつなかで、母親の真意「本気で学ぶなら（子どもを）応援したい」という言葉がでてきた。それは口先だけで、うわべだけの学習なら必要ないという母親の思いからきているものだった。その思いは、その子にだけむけられた言葉ではなく、指導する教師・学校にも向けられた言葉である。とらえなければならぬ。保護者の本当の願いに気づくこと、気づけることが指導者（教師）に求められている。そんなことを考えたとき私が教師のとき、そこまで考えて同和教育をおこなっていたかを振り返ると、不十分であったと思わざるを得ない。

（次号につづく）

前編

第71回全国人権・同和教育研究大会に参加して

昨年、11月30日～12月1日、三重県津市でひらかれた第71回全国人権・同和教育研究大会に参加した。（投稿・山本敏明）

1日目は、津市郊外の「メッセウイング・みえ」で全体会がひらかれ、全国人権教育研究協議会、地元実行委員会など各界のあいさつのもと、基調提案、各分科会の討議課題が報告された。

会場は、第2会場まで人があふれていた。和歌山からの参加者もあちこちで会うことができたが、なかなか会場に入らずロビーなどで会場の音声を聞いていた。主催者からの発表では、参加者は1万人を超えたというのであった。過去には2万人もの人が参加する国内最大の教育研究大会であったが、最近では人権・

午後からは、第1分科会「人権確立をめざす教育の創造」の第4分科会に参加した。1本目は、熊本県人権・大津町立大津小学校、緒方奈々先生の「友だちのおかげで自分が変わる」ことができた」であった。緒方先生は熊本県水俣市の出身で、大学生の時に水俣出身と聞いただけで「あの水俣ね」「うつらないの？大丈夫なの？」などという